

# Monitor Arm Basic

本紙に記載された内容は製品の仕様、付属品の変更によって変更される場合がございます。  
記載事項は正確を期すべく細心のチェックを行っていますが、内容の正確性については保証致しかねます。  
当社は予告なしに内容を変更する権利を有します。  
本製品の耐荷重は開発時試験環境下での確認であり、使用時全ての状況での動作を保証するものではありません。  
また、本紙内には付属しない製品の画像や用語が記載される可能性がございますが、  
付属品については本紙やパッケージの付属品欄に記載がある物のみとなります。  
他社登録商標・商標をはじめ、本紙に記載されている会社名、システム名、製品名は一般的に各社の  
登録商標または商標です。

## 安全上のご注意(必ずお守りください)

あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぐため必ずお守りいただくことを記載しております。

**危険** 死亡または重傷を負う恐れが大きい内容です。

**警告** 死亡または重傷を負う恐れがある内容です。

**注意** 軽傷を負うことや物的損害が発生する恐れがある内容です。

!  
気をつけていただきたい「注意喚起」の内容です。

!  
してはいけない「禁止」の内容です。

!  
必ず実行していただく「強制」の内容です。

### 免責事項

お客様または第三者がこの製品の誤使用や使用中に生じた故障、  
その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた直接的、  
間接的損害について、法令上の賠償責任が認められる場合を除き  
当社は一切その責任を負いませんので予めご了承ください。

シリーズ名	Monitor Arm Basic(Triple)
対応規格	VESA 75x75mm / 100x100mm
対応モニタサイズ	最大 27 インチまで(3画面)
耐荷重	最大 6kg まで(1つのアームに対し)
取付方式	クランプ方式 / グロメット方式
取付可能天板	クランプ: 20 ~ 80mm グロメット: 20 ~ 40mm
取付必須スペース	幅: 150mm / 奥行: 110mm
可動範囲	回転: 360° (±180°) パン: 180° (±90°) チルト: 80° (±40°)
本体サイズ	約 1503x179x727 mm (W x D x H)
重量	約 8.5kg
素材	スチール / アルミ / ABS
保証期間	1年間

### サポート / 連絡先

#### 販売元

株式会社アーキサイト

〒110-0006

東京都台東区秋葉原 5-9 明治安田生命秋葉原ビル  
URL: <http://www.archisite.co.jp>  
サポートダイヤル: 03-6859-0284  
受付時間 10:00~12:00 / 13:00~17:00  
(弊社皆忙な日・年末年始・土日・祝祭日を除く)

## 危険

- 本製品を火の中、電子レンジ等に入れたり、加熱したりしないでください。事故や破損の原因となります。
- 本製品の分解、改造を行わないでください。事故や破損の原因となります。  
また、分解、改造の痕跡がある場合、保証期間内でも交換、修理対応をお断りさせて頂くことがあります。
- 本製品を直射日光の当たる場所や炎天下の車中、暖房器具の傍で使用、もしくは保管をしないでください。  
事故や破損の原因となります。

## 警告

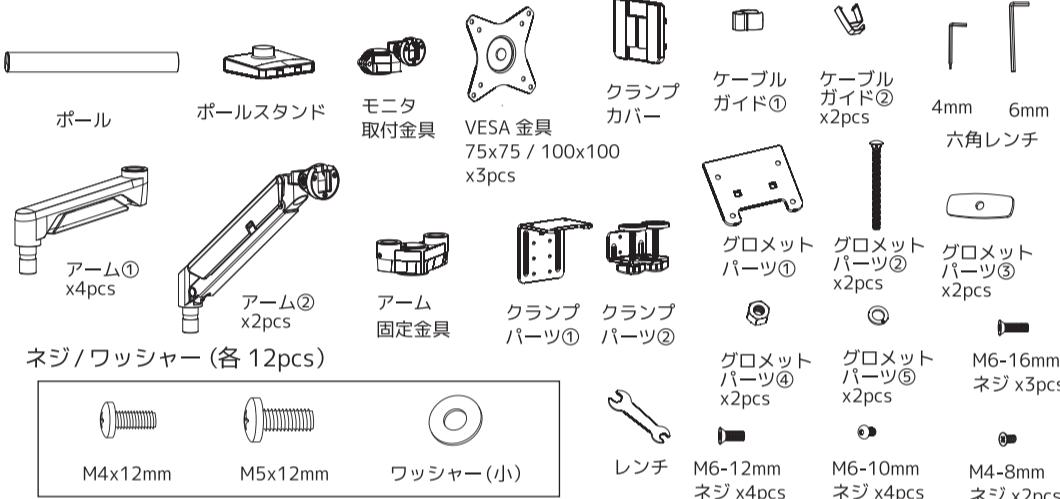
- 本製品に強い衝撃や圧力を与えないでください。与えてしまった場合は、一旦使用をやめて各部に破損がないかを確認してください。そのまま使用を続けると破損や事故の原因となります。
- 水分や湿気の多い場所では本製品は使用しないでください。
- 液体に本製品を入れたり、濡らしたりしないでください。
- 濡れた手で本製品に触らないでください。
- 小さなお子様の手の届く場所に本製品を設置・放置しないでください。
- 本体にほこりが付着した場合は、乾いた布で拭き取ってください。
- 本製品を取り付けや設置に関しては本マニュアルに記載されている通りに行ってください。  
また、取り付けた後は、そのままデスクを動かさないでください。
- 本製品を振動のある場所で使用しないでください。

## 注意

- 本製品の耐荷重は6kgです。6kgを超える機器を取り付けないでください。
- 本製品の対応インチは目安です。耐荷重を確認し、8kg以下の機器を取り付けてください。
- 以下ののような場所で使用、設置をしないでください。破損や故障の原因となります。
  - 1. 強い磁界が発生するところ
  - 2. 火気の周辺や熱のこもるところ
  - 3. 水や水場の近辺
- 有機溶剤で本製品を拭かないでください。
- ネジや各種部品は接続の方向を確認した上で差し込んでください。
- ネジ、ストッパーは付属の部品を使い、しっかりと固定してください。
- ネジやストッパーは時間経過とともに緩みがあります。定期的に固定がされているかを確認してください。
- 取り付けるモニタの重量バランスによってはモニタを縦で使用する時に、重量が重い方に傾く可能性があります。

## 1 付属品一覧

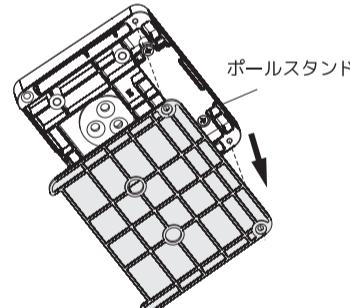
※アームの接合部には潤滑用のグリスが塗られています。衣類等に付かないようご注意ください。



## 2a ポールの組み立て / デスクへの固定方法 (クランプ方式)

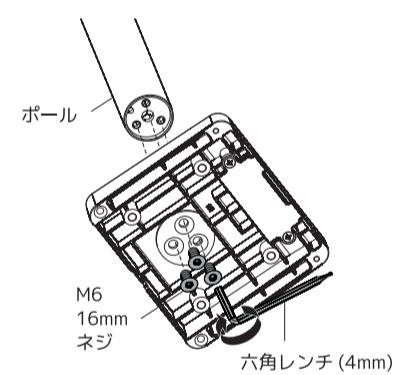
下図をご確認の上、下記の手順で組み立ててください。(①~⑧)

①



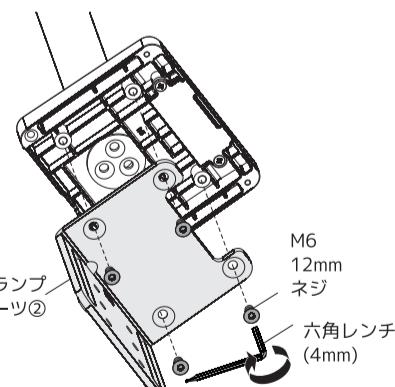
① ポールスタンドの滑り止めゴムを取り外してください。

②



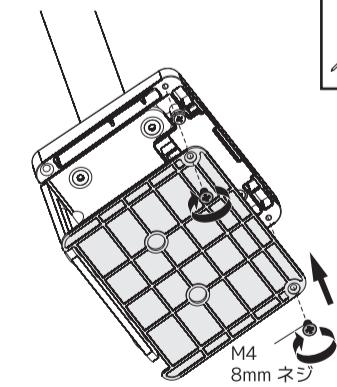
② M6-16mm ネジと六角レンチ(4mm)を使って  
ポールとポールスタンドを固定してください。

③



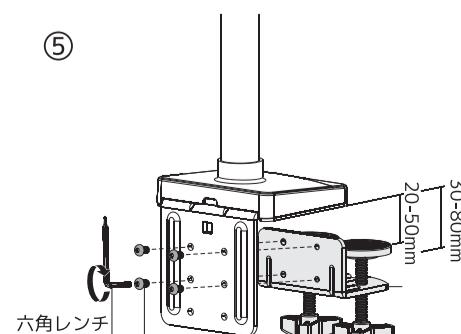
③ 次に M6-12mm ネジと六角レンチ(4mm)を  
使って、ポールスタンドとクランプパート②  
を固定してください。

④



④ ①で取り外した滑り止めゴムを戻し、  
M4-8mm ネジで固定してください。  
※+ドライバが必要です。付属しておりません。

⑤

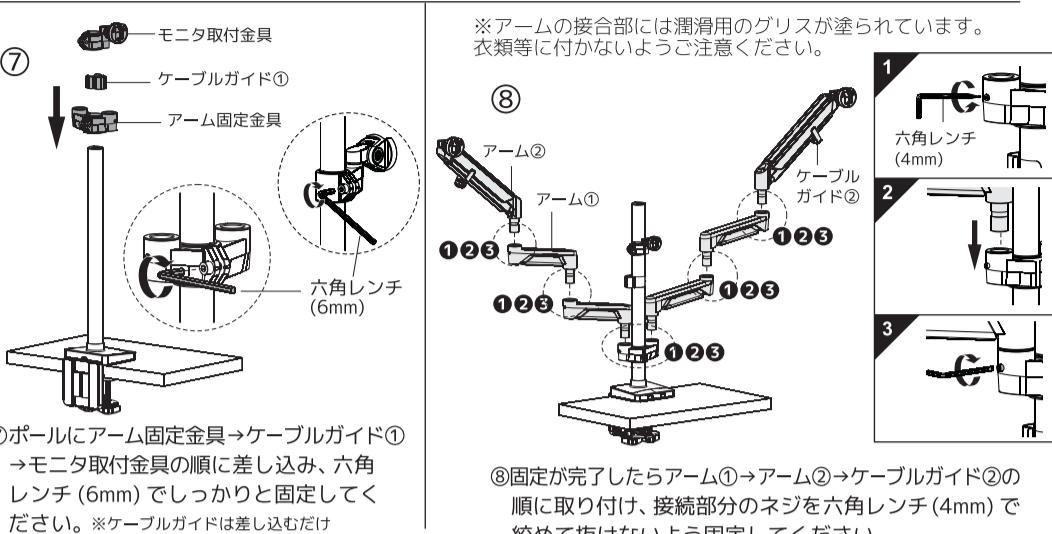
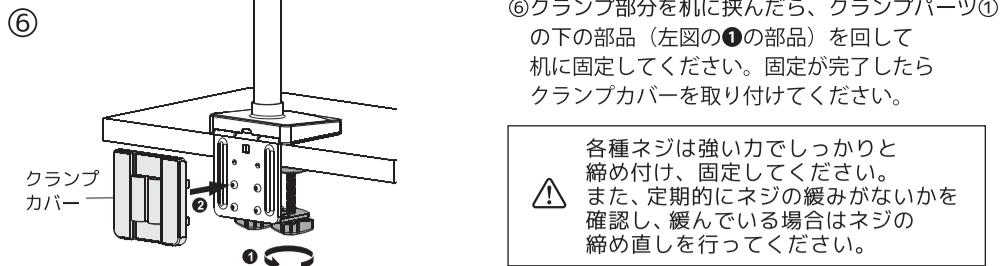


⑤ 取り付けたいデスクの板の厚さに合わせて  
クランプパート①とクランプパート②を  
M6-10mm ネジで固定してください。

※クランプをデスクに  
固定するには右記の  
スペースが必要です。  
取り付けの前に必ず  
ご確認ください。

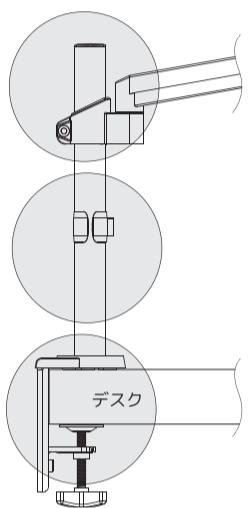
### 対応の厚さ / 幅 / 奥行

厚さ : 20~80mm  
幅 : 150mm  
奥行 : 110mm



## 2a-2 取り付けに関する注意

※画像はイメージです。



アームの締め付けが十分か確認してください。  
また、アームの取り付け方向は左図のように常に設置するデスクの上にアームがあるように取り付けてください。  
デスク外にアームが飛び出すような設置は決して行わないでください。

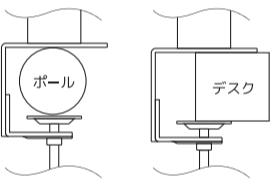


取り付けの際はポール部分が垂直になるよう取り付けてください。  
ポールが傾いている等、垂直以外の角度での取り付けは非常に危険です。



デスクに取り付ける際は左図のようにしっかりとクランプの奥までデスクを差し込み、隙間がないことを確認してから取り付けてください。

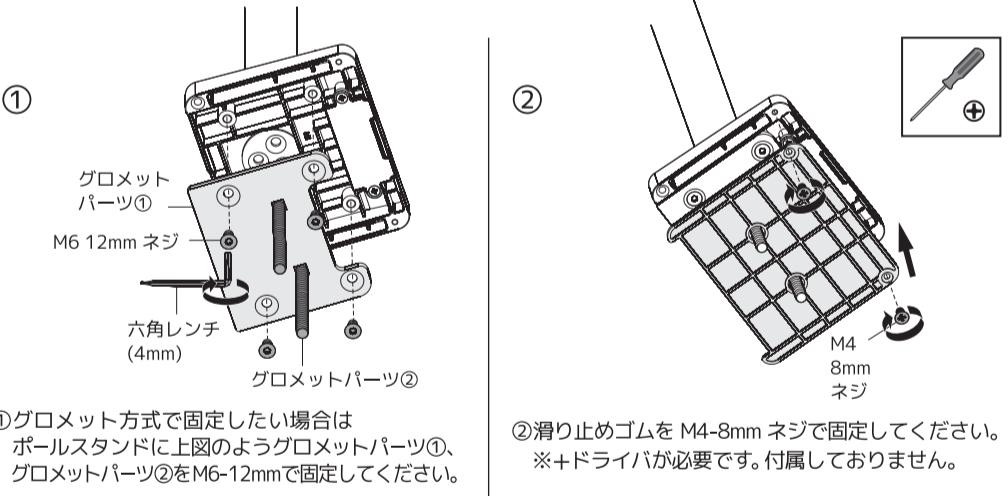
### 取り付けできない例



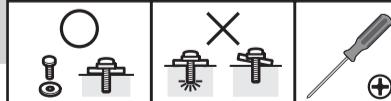
下記のようなデスクには決して取り付けないでください。  
・取り付けるデスクがクランプに隙間なく収まらない  
・デスクがクランプの一番奥まで差し込めない  
・クランプ内面の上側、下側がデスクと全て接しない

## 2b ポールの組み立て/デスクへの固定方法(グロメット方式)

下図をご確認の上、下記の手順で組み立て、固定を進めてください。(①～③)

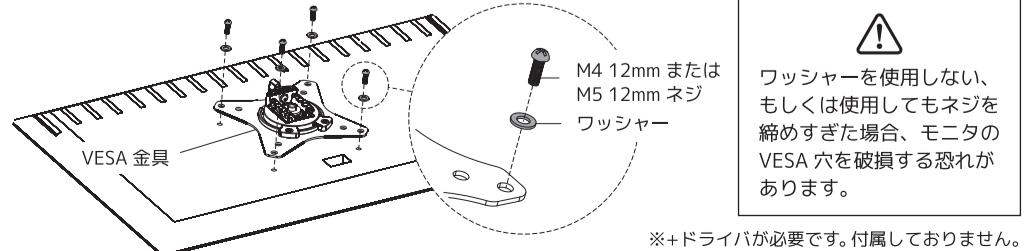


## 3 VESA金具取り付け方法



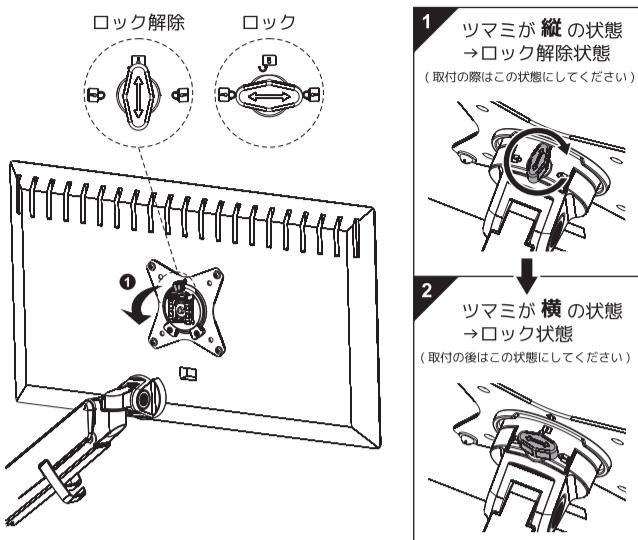
下図を確認の上、VESA金具の上下を間違えないようにしてモニタに取り付けてください。

使用するネジは付属品の中からお使いのモニタに合わせてM4またはM5のものを選択してください。また、取り付け時は必ず付属のワッシャーをご使用ください。



## 4 モニタの取り付け方法

VESA金具を固定したら、下図をご確認の上、アームにモニタを取り付けてください。



①本作業は必ず2人で行ってください。  
2名でモニタの縁を持ってください。  
(画面を掴むとモニタが破損する可能性があります)

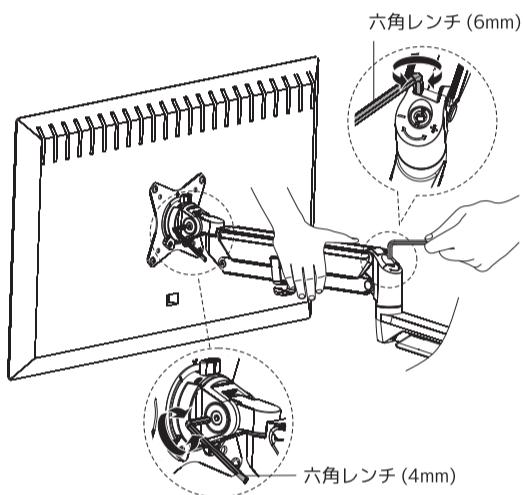
②アームの取り付け部分にVESA金具のレール部分を合わせ、金具に指や手を挟まないよう注意しながら上から下にスライドさせる形でモニタを取り付けてください。

③最後まで挿し込んだ後に、VESA金具上部のツマミを捻り、衝撃で外れないようロックしてください。  
※左図参照

## 5 アームの固さ調節方法

モニタを取り付けた後は、取り付けたモニタとアームのバランスがとれるよう下図のように各部の調節を行ってください。

### ⚠️ しっかりと締め付けてください。

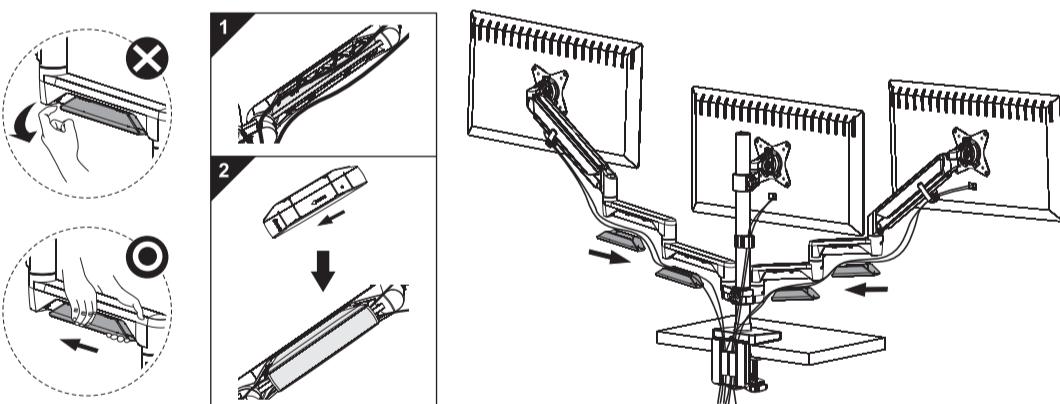


プラス(+)方向に回す  
(時計周り)  
→取り付けたモニタが下に下がる場合の操作

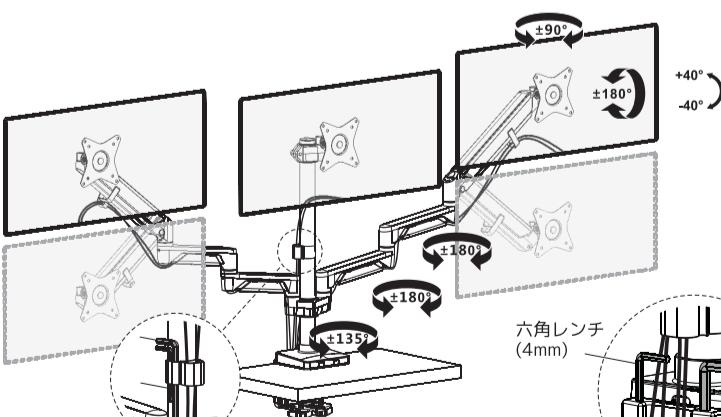
マイナス(-)方向に回す  
(反時計周り)  
→取り付けたモニタが上に上がる場合の操作

## 6 ケーブルマネジメント

ケーブルの収納に関しては下図をご確認ください。

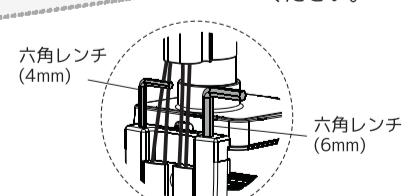


## 7 アームの可動域/各部説明



アームの可動域に関しては左図をご確認ください。

ネジの締め付けに対し、固さや緩みがあると感じた場合は付属の六角レンチを使用し、関節部分の調節を行ってください。



モニタを回転させた際に止める場所で止まらない場合は、右図のaとb部分を+ドライバで締めてください。  
※+ドライバは付属していません。

